

平成 29 年度 予算総額は 66 億 3,690 万円

まちづくりの柱となる平成 29 年度当初予算が、3 月 7 日から 16 日まで開催された第 1 回定例町議会 で可決されました。

「まちづくりと財政健全化を両立させ、行財政の均衡を図る」ことに重点をおいて予算を編成、「訓子 府の元気づくり」を着実に実行するとともに「すべての町民にやさしいまちづくり」を実現するための 施策に戦略的な予算付けを行いました。

会計名	平成 29 年度 当初予算額 (A)	平成 28 年度 当初予算額 (B)	比較 (A) - (B) = (C)	伸び率 (C) / (B) × 100
一般会計	48 億 5,940 万円	47 億 8,370 万円	7,570 万円	1.6%
国民健康保険会計	9 億 7,570 万円	10 億 5,060 万円	△ 7,490 万円	△ 7.1%
後期高齢者医療会計	7,580 万円	7,400 万円	180 万円	2.4%
介護保険会計	5 億 3,950 万円	5 億 1,000 万円	2,950 万円	5.8%
下水道会計	1 億 8,650 万円	1 億 8,680 万円	△ 30 万円	△ 0.2%
合計	66 億 3,690 万円	66 億 510 万円	3,180 万円	0.5%

平成 29 年度の予算編成は、依然厳しい財政状況ではありますが、新たな行政ニーズに対応するための 財源を確保しつつ、将来にわたって持続可能な町を形成するという視点に立って編成しました。

予算の執行に当たっても、限られた財源を効率的かつ有効に活用し、町民一人一人が安心・安全で豊 かな暮らしを実現し、笑顔あふれる元気に満ちたまちづくりをめざします。

各会計予算は上の表のとおりで、一般会計は、48 億 5,940 万円平成 28 年度当初比 1.6% の増、特 別会計を加えた全会計では 66 億 3,690 万円となり、0.5% の増となっています。

限られた財源を活用し、七つの柱でまちづくり

次の七つの柱に重点をおいて、町民の皆さん一人一人が希望と誇りに満ちた元気なまちを築いてい くために、皆さんとともに事業を展開していきます。

1. 安心して「子ども」を産み、育てられるまちづくり

誰もが安心して子どもを産み、育児ができる支援および体制の充実を図ります。

- 「わくわく園」運営事業 8,601 万円

保育教諭の充実、要支援児指導員の増員、園児用図書の実績、「絵本の家」5 か年計画

- 託児無料券交付事業 9 万円 新生児の保護者への託児無料券（6 時間）の配布

2. 強い「産業」で活力を生み出すまちづくり

農業や商工業などの活性化をめざし、元気なまちづくりに取り組みます。

- 第 4 期農地整備事業の促進 1 億 3,821 万円 道営山林川地区水利施設整備事業など

- 特産園芸作物作付維持事業 120 万円

くんねっぷメロン作付維持のためのハウス、種子、商標登録費用を助成

3. いつまでも「健康」に暮らせるまちづくり

地域に住む誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。

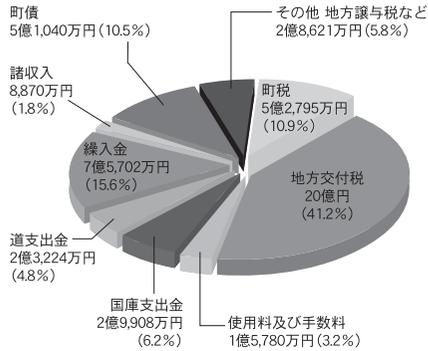
- 障がい者自立支援サービスの充実 2 億 102 万円

- 社会福祉協議会活動助成 1,923 万円 訪問介護車両更新への助成

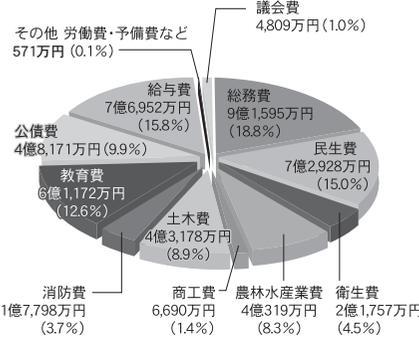
- 検診検査事業 858 万円 がん検診負担金の見直しによる負担軽減など

おとろけの町民にやさしいまちづくり

一般会計の歳入



一般会計の歳出



4. きめ細やかな「教育」で豊かな心と健やかな体を育むまちづくり

学習・文化、スポーツ活動などの発展をめざす豊かなまちづくりに取り組みます。

- スポーツセンター建設事業 2 億 1,192 万円

スポーツセンター・青少年研修館解体工事、スポーツセンター実施設計

- 小中学校臨時講師・支援員配置事業 1,931 万円 臨時講師 4 名、支援員 4 名の配置

5. みんなが快適に暮らせる「基盤」を整えるまちづくり

快適で安心・安全な暮らしの確保や環境にやさしく住みよいまちづくりに取り組みます。

- 幸栄団地整備事業 1 億 780 万円

幸栄団地 1 棟 3 戸の新築、1 棟 4 戸の改修、駐車場、敷地内道路整備

- 水道事業施設改良 6,510 万円 支障物件移設、老朽管更新

6. みんなの「安心・安全」を支えるまちづくり

住民の安全な生活を確保するために、防災意識の向上に努めたまちづくりを進めます。

- 消防指令システム改修事業 268 万円

十勝オホーツク道訓子府 IC 小利別間開通によるナビシステムの改修

- 災害備蓄品整備 26 万円 第 2 次災害備蓄品ガイドラインによる計画的な備蓄品整備

7. 「みんなの力で」暮らしやすいまちづくり

一人一人が住民であることに誇りをもち、自らの地域を考えるまちづくりを進めます。

- 社会資本整備基金積立金 5 億 7,000 万円

本格化した農業基盤整備の財源対策として、農地整備基金を造成

- 役場庁舎屋上防水改修事業 4,834 万円 役場庁舎屋上防水層の改修工事を実施

各種事業など詳しくは、折り込みチラシの「平成 29 年度の主な施策と事業」をご覧ください。